

担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 三浦 雄也さん（二戸市）

執筆者 二戸地方農林水産振興協議会（二戸農業改良普及センター） 高橋 司

二戸市浄法寺で花き経営を開始した新規就農者の三浦雄也さんを紹介します。

三浦さんは、長野県松本市にある（株）フラワースピリットで2年間研修し、平成31年4月に就農しました。

当初は、リシアンサス（トルコギキョウ）とカラーの2品目に絞って営農を開始しましたが、さらなる経営発展を考えるうえで、安定した雇用の確保が課題になり始めました。

冬季節が長い本県北部では、従業員に長く安心して働いてもらえる環境づくりとしての周年雇用は、なかなか難しい部分もあります。

そこで、冬季も栽培できる品目について積極的に情報収集し、令和3年からスカビオサに取り組むこととし、専用の栽培施設として中古ビニールハウスを移設・導入に「新規就農スタートアップ支援事業」を活用しました。

三浦さんは、研修後も年に1回は前述の研修先を訪れ、情報収集に励んでいます。

そこで得た情報から、新たな冬作の候補として有望なラナンキュラスについても、既に試作を開始しています。

フットワーク軽くチャレンジを続ける三浦さんには、今後の活躍がますます期待されます。



リシアンサスの芽かき管理



ラナンキュラス苗の管理